



Überarbeitung 2019

2019年改訂

## Niveaustufenbeschreibung Japanisch<sup>1</sup>

外国語能力レベル認定基準 日本語版<sup>1</sup>

### UNICERT®-Stufen Basis, I - IV

ユニサート®レベル、ベーシックレベル 及び レベル I～レベル IV

### UNICERT®-Basis /ユニサート®ベーシックレベル (一般的な学術的用途の言語)

この外国語能力認定証は、ユニサート®認定を受け、大学等高等教育レベルに特化された外国語コース、「ユニサート®ベーシックレベル (レベル I 前の入門レベル)」を、授業時間約 xxx 時間 (総学習時間 約 xxx) 受講し、修了試験に合格したことを証明するものである。この認定証の保持者は、その成績相応のレベルで、日常で繰り返し現れる状況下で、簡単かつ直接的な情報交換やコミュニケーションをする基礎を習得した。

この認定証の保持者は、一般的なテーマや学業・学生生活に関連するテーマにおいて頻繁に用いられる文や言語表現の聴解能力及び読解能力を有する。また、自分自身に関する特定のテーマ (例えば、生い立ち、教育、大学での学業、自分自身の身の回りのこと等) について、簡単な言語表現を用いて情報を伝達できる。さらに、上記の範囲内において、初歩的な社会文化的知識を習得、異文化間交流の基礎を学習した。

この認定証は、高等教育機関ランゲージセンター連合 (略称 AKS) の認定システムによって定められた基準に基づいて、ユニサート®ベーシックレベル (ユニサート®システムによるユニサート®レベル I～IV に至る前の入門レベル) と認定し、発行されるものである。このユニサート®ベーシックレベルは、欧州評議会が設定したヨーロッパ言語共通参照枠 (英語略称 CEFR、日本の JFS に概ね該当) で「Waystage (ウェイステージ)」と称される習得目標レベル「A2」に準じる。

1. 認定証は、申請者の希望があれば、申請者の性別が特定されないような書き方で発行され得る。特に外国語が併記される場合、特定の単語 (例: 独語の Herr/Frau, er/sie 等) は性別を特定するので、そうした単語を使用しないよう配慮する。

## UNIcert®-Stufe I / ユニサート®レベル I (一般的な学術的用途の言語)

この外国語能力認定証は、ユニサート®認定を受け、大学等高等教育レベルに特化された外国語コース、「ユニサート®レベル I」を、授業時間約 xxx 時間（総学習時間 約 xxx）受講し、修了試験に合格したことを証明するものである。この認定証の保持者は、その成績相応のレベルで、ある特定の範囲内であれば、一般的言語使用場面や学術的用途の言語使用場面、及び、職業的業務下及び学業下での様々な状況に対応できる基礎能力を習得している。

この認定証の保持者は、学業・学生生活に関連した日常的テーマ、及び、主専攻に関連したテーマに関する主要な情報の聴解能力及び読解能力を有する。また、基礎的な言語表現と文法構造及び堅固な語彙力を用いて、一般的な興味・関心に基づくテーマや自分自身の生活・学業に関するテーマについて書く能力及び口頭で表現する能力を有する。この認定証の保持者は、選択された範囲で異文化間交流の実状を認識している。

この認定証は、高等教育機関ランゲージセンター連合（略称 AKS）の認定システムによって定められた基準に基づいて、ユニサート®レベル I（ユニサート®システムによる、ベーシックレベル、レベル I～IV の中のレベル I）と認定し、発行されるものである。このユニサート® レベル I は、欧州評議会が設定したヨーロッパ言語共通参照枠（英語略称 CEFR、日本の JFS に概ね該当）で「Threshold（スレッシュホールド）」と称される習得目標レベル「B1」に準じる。

## UNIcert®-Stufe II / ユニサート®レベル II (一般的な学術的用途の言語)

この外国語能力認定証は、ユニサート®認定を受け、大学等高等教育レベルに特化された外国語コース、「ユニサート®レベル II」を、授業時間約 xxx 時間（総学習時間 約 xxx）受講し、修了試験に合格したことを証明するものである。この認定証の保持者は、その成績相応のレベルで、当該国高等教育機関での学業及び当該国での職業的業務のために滞在中必要とされる基礎言語能力を習得している。（いわゆる Mobilitätsstufe/モビリティシュトゥーフエとして最低限のレベル）

この認定証の保持者は、一般的な語彙と扱われるテーマに関係する語彙を限定された範囲で用いて、一般的言語表現と学術的言語表現で書かれた職業的業務・学業に関連する文章、例えば、スピーチ、講演、難易度中程度の長い文章など、の主要な内容を読解できる。また、多様な文化的、専門的テーマについて、文書や口頭で適切に自己を表現することができると共に、会話にも積極的に参加できる。その際、ある程度の複雑な文構造と専門用語も使用でき、この範囲での社会文化的な知識と異文化間交流対応能力を習得している。

この認定証は、高等教育機関ランゲージセンター連合（略称 AKS）の認定システムによって定められた基準に基づいて、ユニサート®レベル II（ユニサート®システムによる、ベーシックレベル、レベル I～IV の中のレベル II）と認定し、発行されるものである。このウ

ニサート®レベル II は、欧州評議会が設定したヨーロッパ言語共通参照枠（英語略称 CEFR、日本の JFS に概ね該当）で「Vantage（ヴァンテージ）」と称される習得目標レベル「B2」に準じる。

## UNIcert®-Stufe II / ウニサート®レベル II（専門的用途の言語）

この外国語能力認定証は、ウニサート®認定を受け、大学等高等教育レベルに特化された外国語コース、「ウニサート®レベル II」を、授業時間約 xxx 時間（総学習時間 約 xxx）受講し、修了試験に合格したことを証明するものである。この認定証の保持者は、その成績相応のレベルで、当該国高等教育機関での学業及び当該国での職業的業務のために滞在中必要とされる基礎言語能力を習得している。（いわゆる Mobilitätsstufe / モビリティーツシューフェとして最低限のレベル）

この認定証の保持者は、一般的な語彙と扱われるテーマに関係する語彙を限定された範囲で用いて、一般的言語表現と学術的言語表現で書かれた職業的業務・学業に関連する文章、例えば、スピーチ、講演、難易度中程度の長い文章など、の主要な内容を読解できる。また、多様な文化的、専門的テーマについて、文書や口頭で適切に自己を表現することができると共に、会話にも積極的に参加できる。その際、ある程度の複雑な文構造と専門用語も使用でき、この範囲での社会文化的な知識と異文化間交流対応能力を習得している。

オプション：この認定証の保持者は、専門分野「xxx」、特に「xxx」というテーマ領域に関連した基礎語彙を有し、必要な言語表現形式を駆使することができると共に、それに必要な知識と、専門的に専門語を駆使して表現する言語能力を有する。

この認定証は、高等教育機関ランゲージセンター連合（略称 AKS）の認定システムによって定められた基準に基づいて、ウニサート®レベル II（ウニサート®システムによる、ベーシックレベル、レベル I～IV の中のレベル II）と認定し、発行されるものである。このウニサート®レベル II は、欧州評議会が設定したヨーロッパ言語共通参照枠（英語略称 CEFR、日本の JFS に概ね該当）で「Vantage（ヴァンテージ）」と称される習得目標レベル「B2」に準じる。

### UNIcert®-Stufe III / ユニサート®レベル III (一般的な学術的用途の言語)

この外国語能力認定証は、ユニサート®認定を受け、大学等高等教育レベルに特化された外国語コース、「ユニサート®レベル III」を、授業時間約 xxx 時間（総学習時間 約 xxx）受講し、修了試験に合格したことを証明するものである。この認定証の保持者は、その成績相応のレベルで、当該国高等教育機関での学業及び当該国での職業的業務のための滞在中、円滑にコミュニケーションする言語能力を習得している。（いわゆる Mobilitätsstufe / モビリティーツシューフェとして推奨されるレベル）

この認定証の保持者は、一般的な学術的用途及び職業的業務に必要な言語知識と高度な言語能力を有し、ある選択されたテーマ下での様々なシチュエーションにおいて多様な言語的方法を駆使してコミュニケーションすることができる。ある選択されたテーマの、難易度の高い語彙と言語構造を持った、一般言語的、学術的、専門分野に関連した長文が理解でき、また発話された職業的業務に関連した長い原文も理解し、明確な情報のみならず暗示的情報もまとめることができる。よって長時間の講演でも、そこから必要な情報を取り出すことができる。また、この認定証の保持者は、新規に獲得した文構造形式や広範囲にわたる一般的・学術的語彙、及び、外国滞在中の就業と学業に関連した自分自身の専門領域において選択した複雑なテーマに関連する専門的語彙、を利用して、文章でも発話でも、円滑にかつコミュニケーションのために有効に、自己の考えを表現できる。そして、関連付けし、論理的に組み立てた適切な文体で自分自身の態度を詳述できる。この認定証の保持者は、社会文化的な学識を適切に活用でき、異文化と関わる状況でも、自然で不安なく行動できる。

この認定証は、高等教育機関ランゲージセンター連合（略称 AKS）の認定システムによって定められた基準に基づいて、ユニサート®レベル III（ユニサート®システムによる、ベーシックレベル、レベル I~IV の中のレベル III）と認定し、発行されるものである。このユニサート®レベル III は、欧州評議会が設定したヨーロッパ言語共通参照枠（英語略称 CEFR、日本の JFS に概ね該当）で「Effective Operational Proficiency（エフェクティブ・オペレーショナル・プロフィシェンシー）」と称される習得目標レベル「C1」に準じる。

### UNIcert®-Stufe III - Fachsprache / ユニサート®レベル III (専門的用途の言語)

この外国語能力認定証は、ユニサート®認定を受け、大学等高等教育レベルに特化された外国語コース、「ユニサート®レベル III」を、授業時間約 xxx 時間（総学習時間 約 xxx）受講し、修了試験に合格したことを証明するものである。この認定証の保持者は、その成績相応のレベルで、当該国高等教育機関での学業及び当該国での職業的業務のための滞在中、円滑にコミュニケーションする言語能力を習得している。（いわゆる Mobilitätsstufe / モビリティーツシューフェとして推奨されるレベル）

この認定証の保持者は、一般的な学術的用途及び職業的業務に必要な言語知識と高度な言語能力を有し、ある選択されたテーマ下での様々なシチュエーションにおいて多様な言語的方法を駆使してコミュニケーションすることができる。ある選択されたテーマに関して話された、難易度の高い語彙と言語構造を持つ、一般言語的、学術的、専門分野に関連した長い文章が理解でき、明確な情報のみならず暗示的信息もまとめることができる。よって長時間の専門的な講演でも、そこから必要な情報を取り出すことができる。この認定証の保持者は、新規に獲得した文構造形式や広範囲にわたる一般的・学術的語彙、及び、外国滞在中の就業と学業に関連して自分自身の専門領域において選択した複雑なテーマに関連する専門的語彙、を利用して、文章でも発話でも、円滑に、かつコミュニケーションのために有効に、自己の考えを表現できる。そして、関連付けし、論理的に組み立てた適切な文体・表現形式で自分自身の態度を詳述できる。この認定証の保持者は、社会文化的な学識を適切に活用でき、異文化と関わる状況でも、自然で不安なく行動できる。

オプション：この認定証の保持者は、専門分野「xxx」、特に「xxx」というテーマ領域に関連して必要な専門的語彙・言語表現形式を駆使することができると共に、必要な知識と、専門的に専門語を駆使して表現する言語能力を有する。

この認定証は、高等教育機関ランゲージセンター連合（略称 AKS）の認定システムによって定められた基準に基づいて、ユニサート®レベル III（ユニサート®システムによる、ベーシックレベル、レベル I～IV の中のレベル III）と認定し、発行されるものである。このユニサート®レベル III は、欧州評議会が設定したヨーロッパ言語共通参照枠（英語略称 CEFR、日本の JFS に概ね該当）で「Effective Operational Proficiency（エフェクティブ・オペレーショナル・プロフィシェンシー）」と称される習得目標レベル「C1」に準じる。

## UNICert®-Stufe IV /ユニサート®レベル IV (一般的な学術的用途の言語)

この外国語能力認定証は、ユニサート®認定を受け、大学等高等教育レベルに特化された外国語コース、「ユニサート®レベル IV」を、授業時間約 xxx 時間（総学習時間 約 xxx）受講し、修了試験に合格したことを証明するものである。この認定証の保持者は、一般的な学術的用途及び専門的な用途に必要な言語知識と「言語のプロ」としての高度な能力を持ち、外国語でのコミュニケーション場面において、包括的なコミュニケーション能力を発揮できる。すなわち、全ての一般的な状況下はもちろん、学術的、職業的、かつ専門分野に関連する状況下において、専門家として要求される事項や内容に従って、必要な表現様式や言語的索引を駆使して、正確に、円滑に、適切に行動し、対応することができる。

この認定証の保持者は、滞在先となる国に特有の異文化的側面に通じているため、他の文化圏に属する人々とも、労せず臨機応変にコミュニケーションができる。一般的、学術的な言語を使用し、専門的な内容に適した形式での、変化に富んだ様々な分野をテーマとした発言、及び、難易度の高い語彙と言語構造を持った複雑で長い発言が理解できる。また、一般的・学術的言語を使用し、専門分野に関連した、様々なテーマに関する複雑で難易度の高い、発話された長い原文が理解できる。外国語における形式的・待遇的アクセントやイントネーション及びその程度を認識でき、専門分野特有の専門用語や特殊な語法にも通じている。従って、難易度の高い複雑な談話、議論、ディベートにも、言語的制約なしに参加することができ、また、あらゆる事態に対応して、多種多様な形式を駆使して長い文章を書いたり口頭で論述したりすることができる。さらに、この認定証の保持者は、幅広いテーマで、流暢に、豊富で多様な語彙と文構造を駆使して内容的にも論理的な講演をすることができ、それを論文として文章化し、自分自身の意見を論理的に発展させ説得力のある議論を多様に展開することができる。また、自身の社会文化的な学識によって、異文化間交流場面での諸状況を的確に判断し、仲裁役として交渉することができる。

この認定証は、高等教育機関ランゲージセンター連合（略称 AKS）の認定システムによって定められた基準に基づいて、ユニサート®レベル IV（ユニサート®システムによる、ベーシックレベル、レベル I～IV の中のレベル IV）と認定し、発行されるものである。このユニサート®レベル IV は、欧州評議会が設定したヨーロッパ言語共通参照枠（英語略称 CEFR、日本の JFS に概ね該当）で「Mastery（マスタリー）」と称される習得目標レベル「C2」に準じる。

## UNICert®-Stufe IV /ユニサート®レベル IV (専門的用途の言語)

この外国語能力認定証は、ユニサート®認定を受け、大学等高等教育レベルに特化された外国語コース、「ユニサート®レベル IV」を、授業時間約 xxx 時間（総学習時間 約 xxx）受講し、修了試験に合格したことを証明するものである。この認定証の保持者は、一般的な学術的用途及び専門的な用途に必要な言語知識と「言語のプロ」としての高度な能力を持ち、外国語でのコミュニケーション場面において、包括的なコミュニケーション能力を発揮できる。すなわち、全ての一般的な状況下はもちろん、学術的、職業的、かつ専門分野に関連する状況下において、専門家として要求される事項や内容に従って、学術研究者としての期待に応えられるレベルで、必要な表現様式や言語的索引を駆使して、正確に、円滑に、適切に行動し、対応することができる。

この認定証の保持者は、滞在先となる国に特有の異文化的側面に通じているため、他の文化圏に属する人々とも、労せず臨機応変にコミュニケーションができる。一般的、学術的な言語を使用し、専門的な内容に適した形式での、変化に富んだ様々な分野をテーマとした発言、及び、難易度の高い語彙と言語構造を持った複雑で長い発言が理解できる。また、一般的な言語が使用され、専門分野に関連した、複雑で長い、発話された原文が理解できる。外国語における形式的・待遇的アクセントやイントネーション及びその度合いを認識でき、専門分野特有の専門用語や特殊な語法にも通じている。従って、難易度の高い複雑な談話、議論、ディベートにも、言語的制約なしに参加することができ、また、あらゆる事態に対応して、多種多様な形式を駆使して長い文章を書いたり口頭で論述したりすることができる。

この認定証の保持者は、一般的テーマあるいは専門分野のテーマで、流暢に、豊富な語彙や多様な文構造を駆使して内容的にも幅広く論理的な講演をすることができ、それを論文として文章化し、自分自身の意見を論理的に発展させ説得力のある議論を多様に展開することができる。また、自身の社会文化的な学識によって、異文化間交流場面での諸状況を的確に判断し、仲裁役として交渉することができる。

オプション：この認定証の保持者は、専門分野「xxx」、特に「xxx」というテーマ領域に関連して必要な専門的語彙・言語表現形式を駆使することができると共に、必要な知識と、専門的に専門語を駆使して表現する言語能力を有する。

この認定証は、高等教育機関ランゲージセンター連合（略称 AKS）の認定システムによって定められた基準に基づいて、ユニサート®レベル IV（ユニサート®システムによる、ベーシックレベル、レベル I～IV の中のレベル IV）と認定し、発行されるものである。このユニサート®レベル IV は、欧州評議会が設定したヨーロッパ言語共通参照枠（英語略称 CEFR、日本の JFS に概ね該当）で「Mastery（マスタリー）」と称される習得目標レベル「C2」に準じる。